
【群馬大学】
「総合情報学部 総合情報学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
【企業対象調査】
結果報告書

平成31年2月

企業対象 調査概要

1. 調査目的

2020年4月に開設予定の群馬大学「総合情報学部 総合情報学科」の新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の人事関連業務担当者
調査エリア		北海道、青森県、宮城県、山形県、福島県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、富山県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、福岡県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	650件
	回収数 (回収率)	252件 (38.8%)
調査時期		2018年12月4日(火)～2018年12月25日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・人事採用への関与度 ・本社所在地 ・業種 ・従業員数 ・正規社員の平均採用人数 ・本年度の採用予定数 ・採用したい学問系統 ・「総合情報学部 総合情報学科」の特色に対する魅力度 ・「総合情報学部 総合情報学科」の社会的必要性 ・「総合情報学部 総合情報学科」卒業生に対する採用意向 ・「総合情報学部 総合情報学科」卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ

回答企業(回答者)の属性

※ 本調査は、群馬大学が新たに設置予定の「総合情報学部 総合情報学科」に対する人材需要を確認する目的の調査として設計した。そのため、群馬大学卒業生が就職している、もしくは就職先として想定される企業・団体の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、252件から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は40.1%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が44.8%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社(本部)所在地は、群馬大学の所在地である「群馬県」が61.9%で最も多い。次いで、「東京都」が21.0%。
- 回答企業の業種としては、「製造業」が16.3%で最も多い。次いで、「卸売・小売業」(13.5%)、「情報通信業」(12.3%)、「建設業」(11.9%)、「サービス業」(10.3%)と続く。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が31.0%で最も多く、次いで、「50名未満」が23.4%と続く。

回答企業の採用状況(過去3か年)

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「～5名未満」が33.7%で最も多い。次いで、「10～20名未満」(15.1%)、「5～10名未満」(12.7%)と続く。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が51.2%で最も多い。次いで、「増やす」が29.0%。
- 回答企業の採用したい学問系統は、「学部や学問系統にはこだわらない」が54.8%で最も高い。「総合情報学部 総合情報学科」と関連のある「情報学系統」は32.1%。次いで、「工学系統」(31.7%)、「経済・経営・商学系統」(27.0%)と続く。

企業対象 調査結果まとめ

「総合情報学部 総合情報学科」の特色に対する魅力度

- 「総合情報学部 総合情報学科」の特色に対する魅力度(※)は、全ての項目で8割を超える。中でも、「情報科学に関する深い理解に基づき、IoTや人工知能などの社会や産業など様々な分野から求められる次世代の技術を創出し応用する能力を養います。」が92.5%で、特色4項目中最も高い。
- 次いで、「人間の営みやセンサー等が生む膨大な記録から有用なデータを構築・分析して実世界の課題を発見・解決する、データ解析の能力を養います。」(88.9%)、「多文化が共生する社会をめざし、その理念を実現する組織や制度を具体的に設計・構築して検証・評価するため、情報技術を使いこなす力を養います。」(88.1%)が高い。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

「総合情報学部 総合情報学科」の社会的必要性

- 「総合情報学部 総合情報学科」の社会的必要性について、「必要だと思う」と答えた企業は94.8% (239件)と、多くの企業でこれからの社会にとって必要だと認識されている。

「総合情報学部 総合情報学科」卒業生に対する採用意向／毎年の採用想定人数

- 「総合情報学部 総合情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は88.9% (224件)と、予定している入学定員(170人)を上回る。
- 「総合情報学部 総合情報学科」卒業生を「採用したいと思う」と答えた224件に対し、「総合情報学部 総合情報学科」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聴取したところ、合計は389名程度であった。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

企業対象 調査結果まとめ

採用意向 属性別傾向

◇本社所在地別

- 本社所在地別に採用意向を見ると、群馬大学の所在地である「群馬県」の企業からの採用意向は87.2% (136件)である。また、「その他都道府県計」の企業からの採用意向は92.6% (88件)。

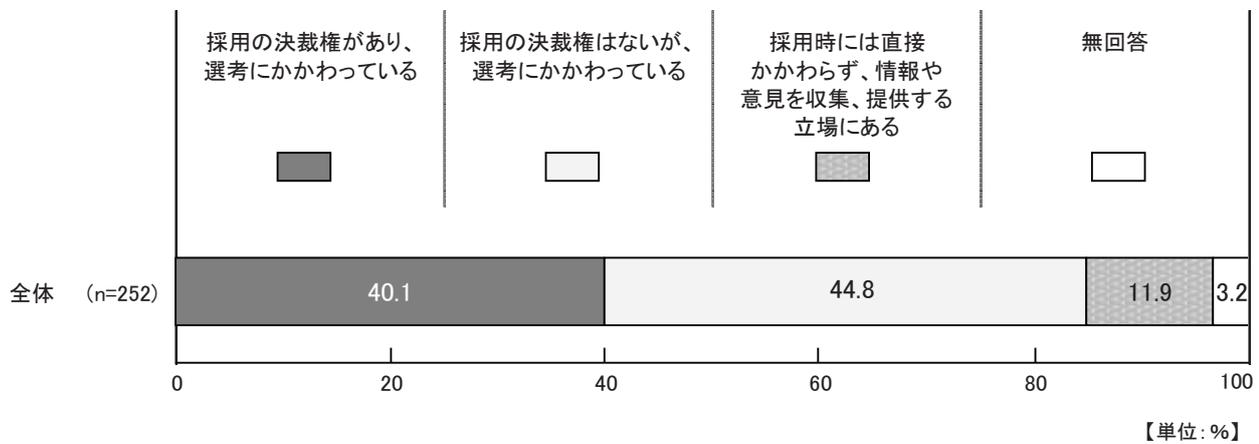
◇業種別

- 「情報通信業」からの採用意向は100.0% (31件)である。

回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度/本社所在地)

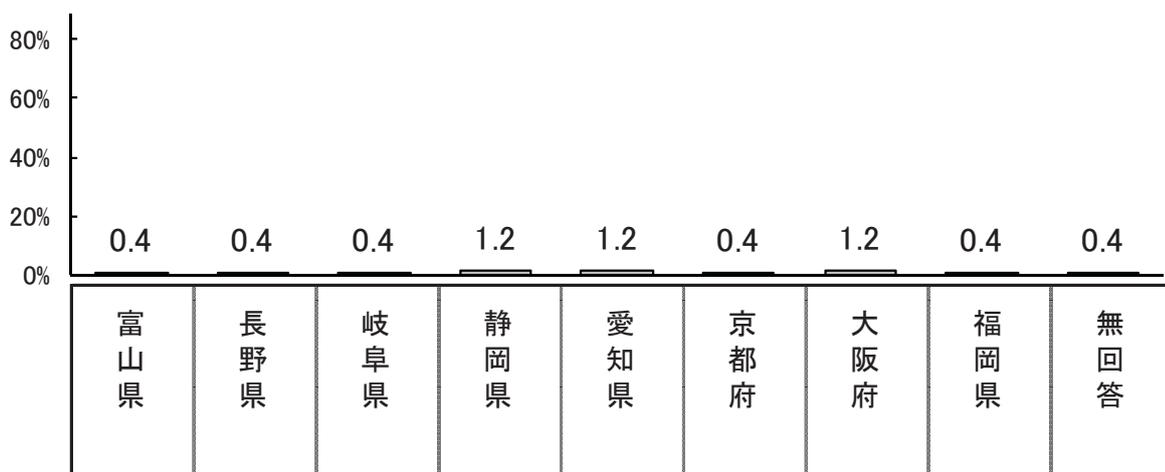
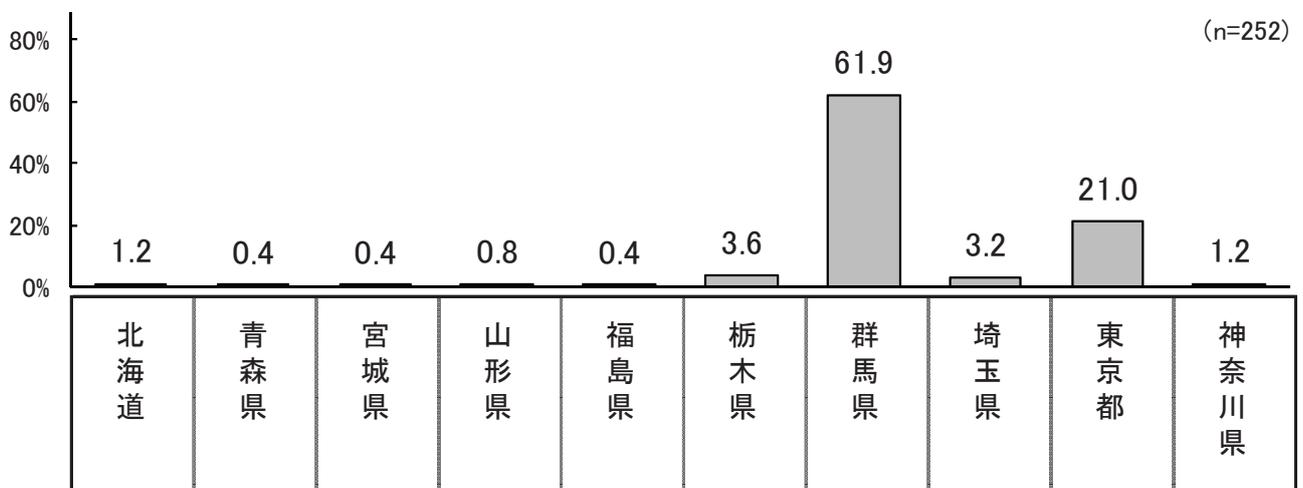
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

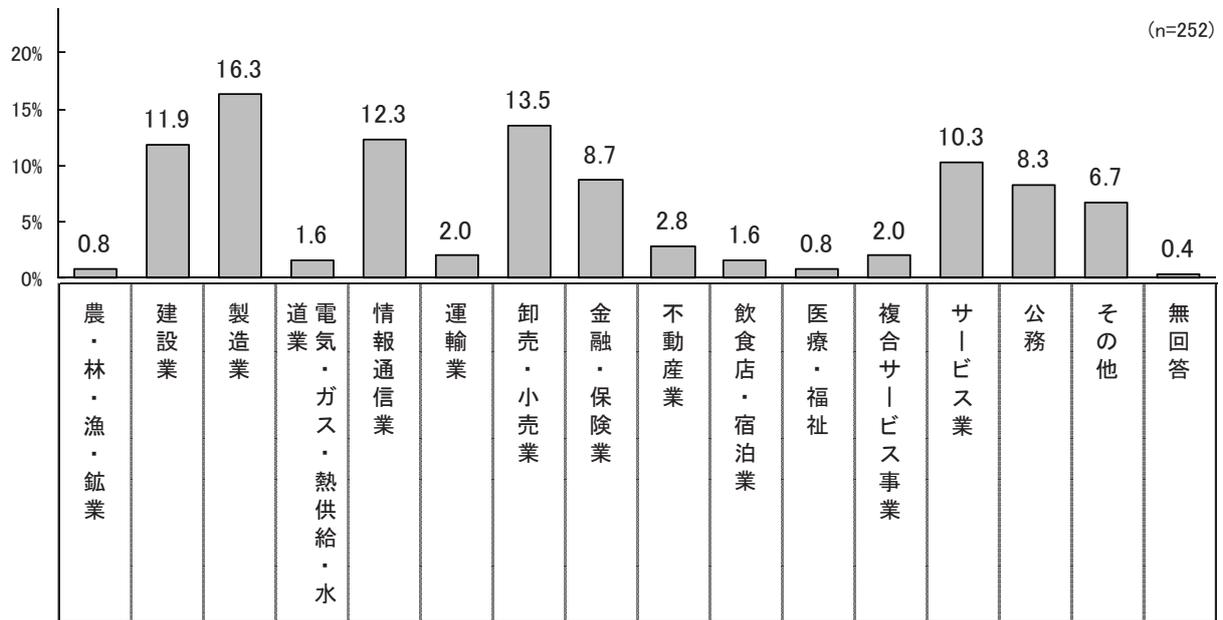
Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。



回答企業(回答者)の属性(業種/従業員数)

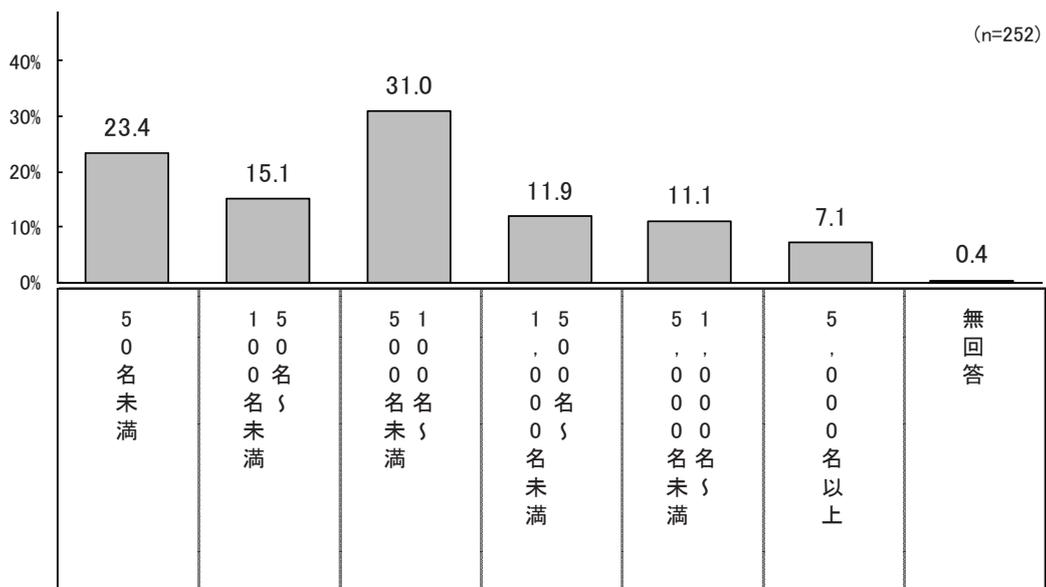
■業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



■従業員数

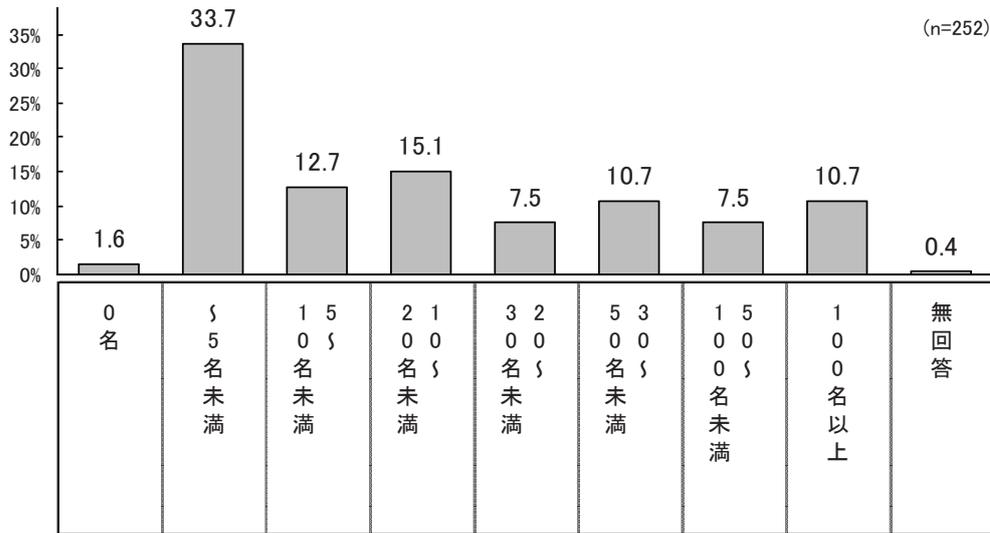
Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数／採用したい学問系統

■正規社員の平均採用人数

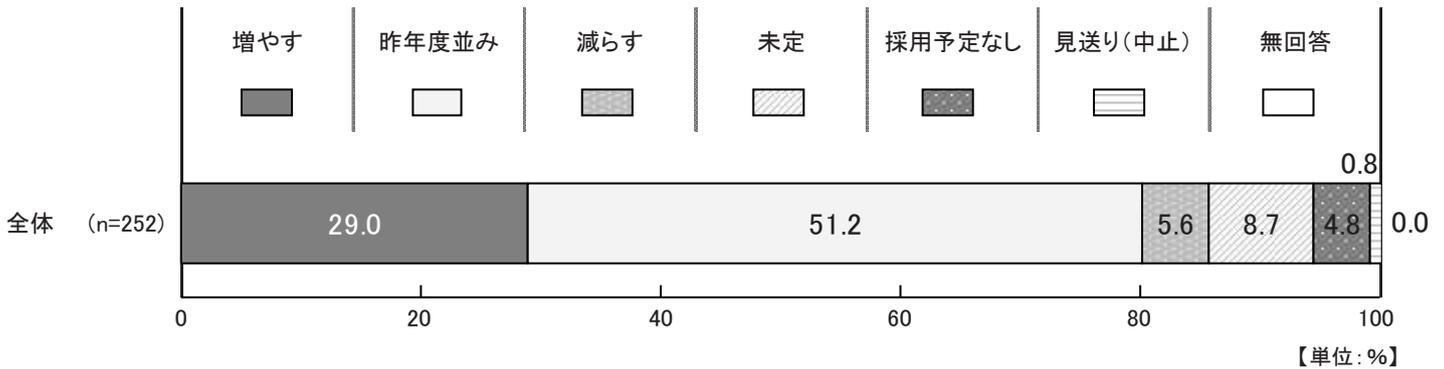
Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。



※自由記述で聴取した人数をカテゴリー分けしてグラフ化

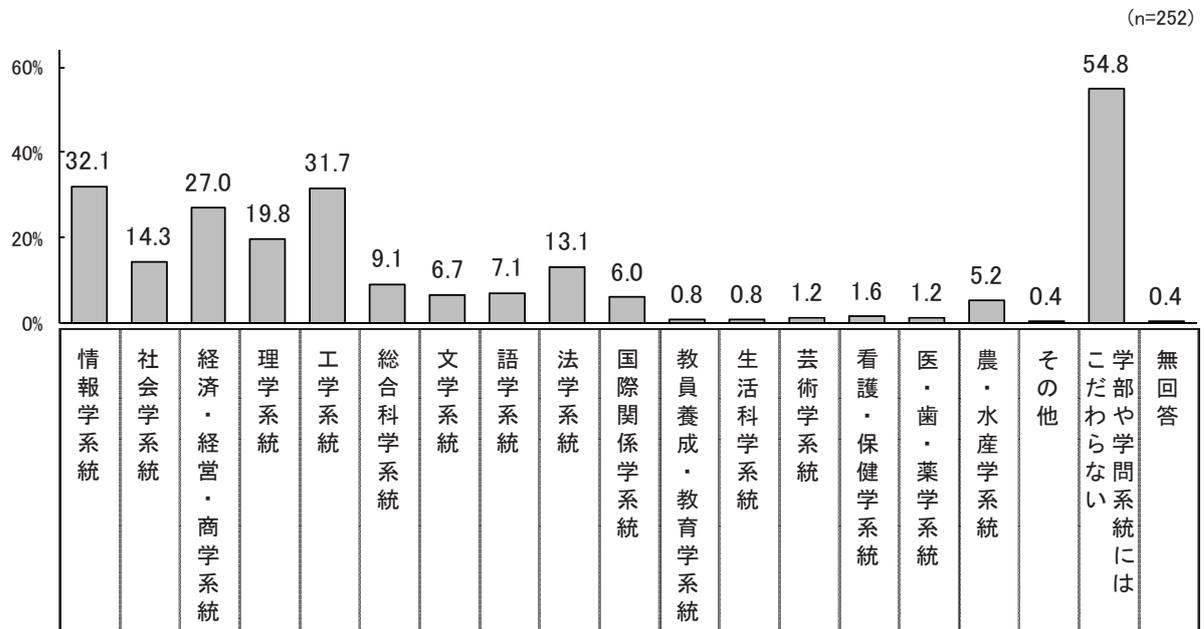
■本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



■採用したい学問系統

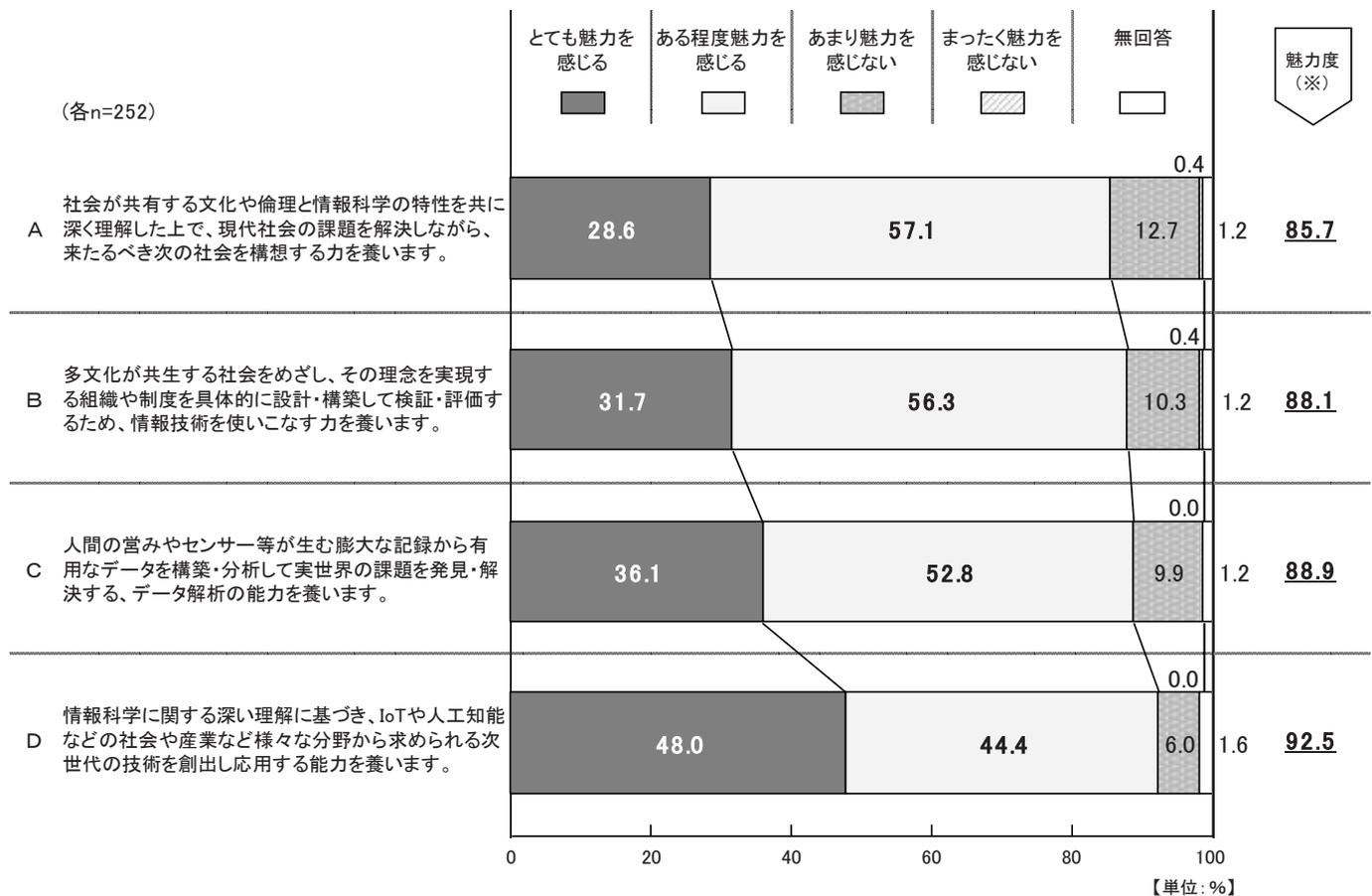
Q7. 貴社・貴団体では、どのような系統の学部を卒業した人物を採用したいとお考えですか。(あてはまる番号すべてに○)



「総合情報学部 総合情報学科」の特色に対する魅力度

■「総合情報学部 総合情報学科」の特色に対する魅力度

Q8. 群馬大学「総合情報学部 総合情報学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
 貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
 (それぞれあてはまる番号1つに○)



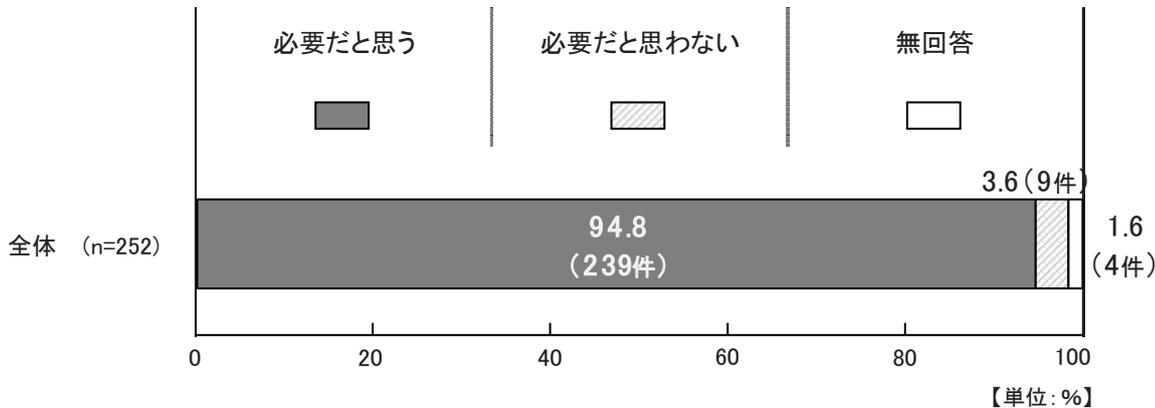
※魅力度=「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

「総合情報学部 総合情報学科」の社会的必要性／ 卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

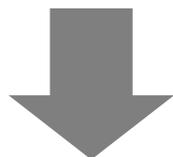
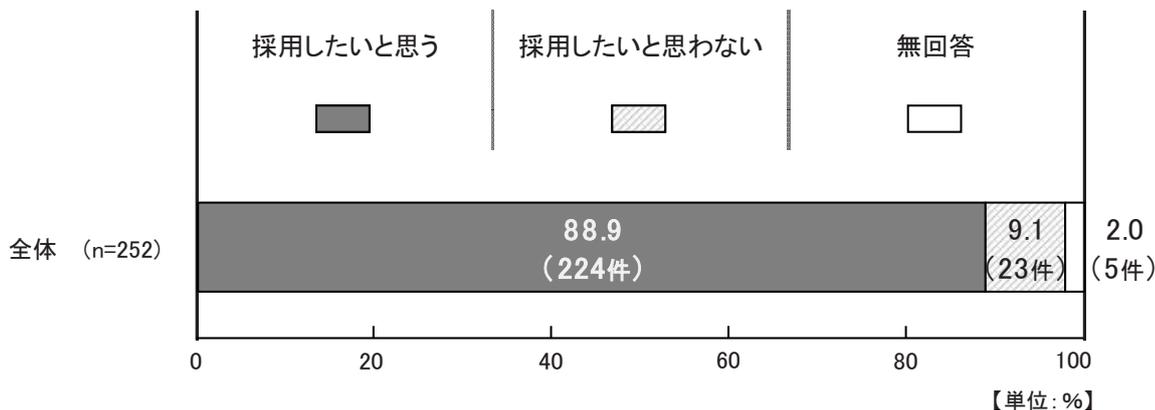
■「総合情報学部 総合情報学科」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は群馬大学「総合情報学部 総合情報学科」(仮称、設置構想中)はこれからの社会にとって必要だと思いますか。(あてはまる番号1つに○)



■「総合情報学部 総合情報学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体では、群馬大学「総合情報学部 総合情報学科」(仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(あてはまる番号1つに○)



「総合情報学部 総合情報学科」卒業生を
「採用したいと思う」と答えた224件のみ抽出

■「総合情報学部 総合情報学科」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10で「採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。
現時点でのご回答者ご自身のお考えに最も近いものをお選びください。(あてはまる番号1つに○)

調査数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	人数は未確定	無回答	毎年の採用想定人数・計※(名)								
		%	件	%	件	%	件				%	件						
全体	224	24.6	55	14.7	33	10.3	23	2.2	5	4.0	9	1.8	4	42.0	94	0.4	1	⇒ 389

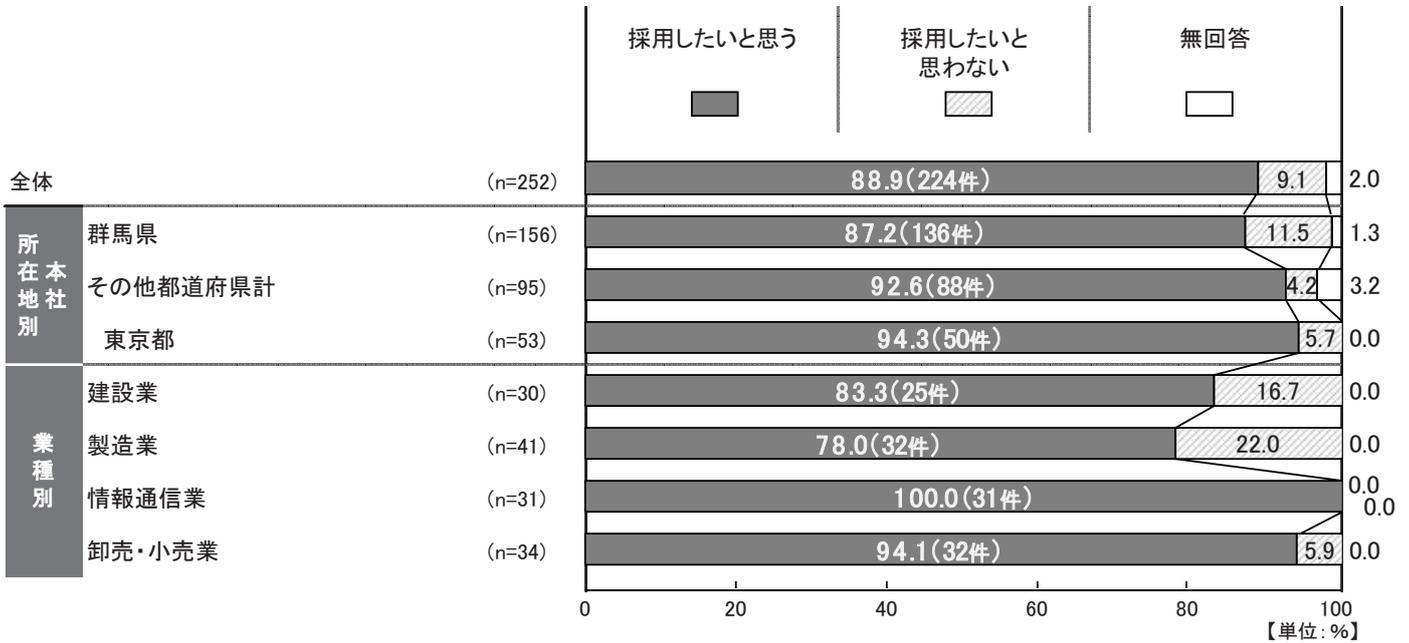
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名、「人数は未確定」=1名を代入し合計値を算出

「総合情報学部 総合情報学科」卒業生に対する採用意向 ＜属性別＞

■「総合情報学部 総合情報学科」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体では、群馬大学「総合情報学部 総合情報学科」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（あてはまる番号1つに○）

＜属性別＞



群馬大学に関するアンケート

群馬大学では2020年4月より、「総合情報学部 総合情報学科」(仮称)を新設することを構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている「総合情報学部 総合情報学科」(仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり、内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------------|-------------|--------------|
| 1. 農・林・漁・鉱業 | 6. 運輸業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 建設業 | 7. 卸売・小売業 | 12. 複合サービス事業 |
| 3. 製造業 | 8. 金融・保険業 | 13. サービス業 |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 9. 不動産業 | 14. 公務 |
| 5. 情報通信業 | 10. 飲食店・宿泊業 | 15. その他 |

()

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

過去3か年 平均

名程度

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。

(あてはまる番号1つに○)

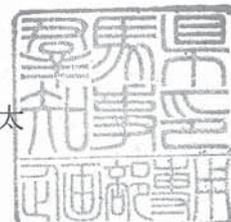
- | | | |
|----------|--------|------------|
| 1. 増やす | 3. 減らす | 5. 採用予定なし |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 | 6. 見送り(中止) |

裏面に続く→

令和2年3月6日

国立大学法人群馬大学長
平塚浩士様

群馬県知事
山本一太



情報系新学部の設置に関する要望書

貴学におかれましては、本県に立地する国立大学として、地域の知の拠点、地域の教育、医療を担う中核となり、活力ある地域社会の創造、産業の発展、医療福祉の向上に寄与されるとともに、豊かな人間性と高度な専門知識を兼ね備えた優れた人材を育成されていることに対して、心より敬意と感謝を表します。

さて、AI や IoT など急速に情報技術が進展する社会では、製造業、サービス業、金融・保険業、建設業などあらゆる産業分野において、数理統計やデータ利活用による産業競争力の向上が期待されています。

また、県政において、県民の幸福度を上げるためには、健康、医療、介護等の社会保障や教育・保育の充実、交通システム・基幹道路の整備など社会基盤の構築が必須となっており、これらの分野においても、ICT を活用した各種データの利活用や安全安心に活用できる ICT インフラの整備が求められています。

ビッグデータの収集・蓄積・分析能力と相まって、数理・データサイエンス・AI に関する知識・技能と、人文社会系の知見をもとに、新たな社会の在り方や、新しい社会にふさわしい製品・サービスをデザインし、新たな価値を生み出すことができる人材は、群馬県における生活の質の向上と地域産業の振興のみならず、我が国の発展に向けて欠かせません。

さらに、新たな社会の構築を行政において支援し実現するためにも、上記の素養を持った人材は Society5.0 の社会において自治体職員にも強く求められています。

本県では令和2年度に、デジタル技術を活用して県内産業・県民生活・行政施策を変革していくため「デジタルトランスフォーメーション課」を、データ分析による政策の立案・検証を推進するため「データ分析・活用推進室」を新設します。

多様化、複雑化する様々な行政課題を、新たな手法で解決していくためにも、貴学とのさらなる連携を期待しているところです。

つきましては、貴学において、高度情報社会に人文・社会科学と情報科学の双方からアプローチする新たな情報系学部の設置が早期に実現し、これまで以上に、本県並びに我が国に貢献する大学となるよう、特段のご配慮を賜りますよう、要望いたします。